



公益社団法人日本包装技術協会（JPI）は『包装技術等の向上改善を通じて生産、流通および消費の合理化を図り、もってわが国経済の発展に寄与すること』を目的として、1963年3月14日に設立されました。その下部団体の一つに 日本包装専士会があります。包装専士講座は、包装技術のエキスパートを養成するわが国最高レベルの講座です。真の実践能力を養成するために、応用能力を極めるカリキュラムで構成され、修了者には「包装専士」の資格が与えられます。日本包装専士会は包装の専門分野の深化と高度化を図る目的で開講された包装専士講座の趣旨に則り、包装専士の資質の向上と包装技術の発展に貢献する目的を達成するための専門家集団です。

本年も4つのコースで45名の方々が包装専士講座を修了され、日本包装専士会に8名入会されました。（6月25日現在）タテ／ヨコのつながりをもとに充実した包装技術を共有し、所属会社へ貢献されることと思います。

－日本包装専士会の運営－



JPI:公益社団法人 日本包装技術協会

包装専士会委員会の活動 ～TOKYO PACK 2026、包装業界コラボ企画

2026年はTOKYO PACK 2026 の開催の年です。日本包装専士会の各委員会では前回終了時から継続して準備を進め、包装の歴史年表や未来年表のリニューアル、テクニカルセミナー講演、学生や国立環境研究所とのコラボセミナーなど多くの企画も大詰めにかけています。また今年は、従来の活動に加えて「パッケージの未来」に関する専門家へのアンケート企画を実施したり、インターパック2026視察講演会の開催など、他の包装団体とのコラボ活動を展開しています。